

柏原市立歴史資料館
平成28年度 夏季企画展

まじなう

「古代の祈りの道具たち」

平成28年

7月2日(土)

8月28日(日)



入館無料

9時30分～16時30分
月曜休館(祝日は開館)

 **文化財講演会** 13:00～16:00 定員80名

● 7月30日(土)


大庭重信氏(大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)
「人面墨画土器と古代の祭祀-大阪市南部の遺跡出土資料から-」

積山 洋氏(大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)
「古代難波の祭祀と牛馬」

● 8月27日(土)

森川 実氏(奈良文化財研究所 都城発掘調査部)
「土器に描かれた顔-古代の不思議なまじないとその周辺-」

榎村寛之氏(斎宮歴史博物館)
「奈良時代の祈りとマツリ-神も鬼も怨霊も-」

 **市民歴史大学** テーマ『古代人のこころ』 13:30～15:00 定員100名

● 7月9日(土)

辰巳和弘氏(元同志社大学教授)
「古代をみる眼-“かたち”の“こころ”-」

● 8月20日(土)

山中 章氏(三重大学名誉教授)
「日本古代の国家祭祀-都城で行われた律令祭祀-」

 **館長と学ぶ“大和川講座”** 13:30～15:00 定員40名

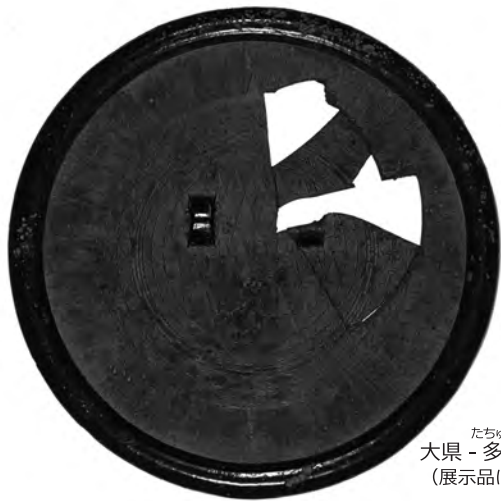
● 7月23日(土) 安村俊史(当館館長)「前期古墳と大和川」

いずれの講演会も、申込不要、参加費無料 会場：歴史資料館研修室

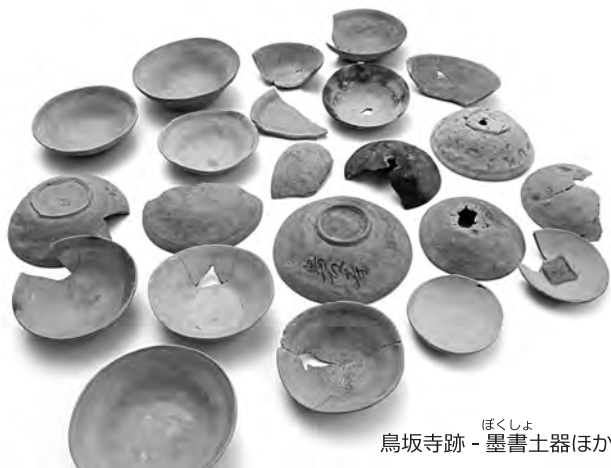
人は、不安や恐れを解消するために、特別な道具や神仏の力を借りて、古くから「まじない」を行ってきました。神社やお寺などで見かけるおみくじや願掛けも、現代に続く「まじない」のひとつと言えます。

「まじない」の道具は、時代によってさまざまに変化していきませんが、七世紀後半以降、「律令」の導入によって「まじない」は大きく変化したといわれています。律令とは、当時の中国にならって、刑罰や行政の仕組みを規定したものです。その変化は、この柏原でも起こっていました。展示では、柏原で特に多く見つかっている八世紀頃の「まじない」の道具に注目しています。

遺跡から見つかる「まじない」の道具には、何のために、どのようにして使ったのかわからない道具も多くあります。目的や、使い方をあれこれ想像するのも「まじない」の道具を見る面白さでもあります。そうした道具を通じて、当時の人びとの「こころ」をのぞいてみてください。



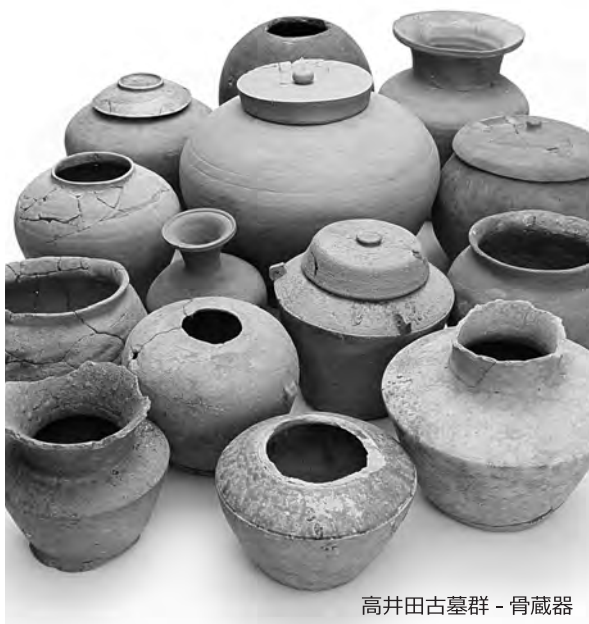
たちゅうさいもんきょう
大泉 - 多鈕細文鏡
(展示品は複製品)



ぼくしよ
鳥坂寺跡 - 墨書土器ほか



讃良郡条里遺跡 - 絵馬 (写真提供: 大阪府文化財センター)



高井田古墓群 - 骨蔵器

主な展示資料

◆縄文・弥生時代のまじない

船橋遺跡 - 土偶・御物石器、大泉 - 多鈕細文鏡【複製品】、平野遺跡 - 円窓付土器(以上、大阪府立弥生文化博物館)、大泉遺跡 - 石刀、本郷遺跡 - 小銅鐸(以上、当館)

◆古代のまじない

原山遺跡 - ミニチュア土器、大泉南遺跡 - 墨書土器、鳥坂寺跡 - 墨書土器・木製品、高井田遺跡 - 木製品、安堂遺跡 - 墨画人面土器・土馬(以上、当館)、船橋遺跡 - 墨画人面土器・土馬(大阪府立弥生文化博物館)、讃良郡条里遺跡 - 墨画人面土器・絵馬(大阪府文化財センター)、長原遺跡 - 墨画人面土器・ミニチュア土器、加美遺跡 - 墨画人面土器(以上、大阪文化財研究所)、河内大橋復元模型(市民歴史クラブ製作)

◆古代の死へのまじない

平尾山古墳群雁多尾畑第49支群 - 須恵器・土師器・和同開珎、田辺墳墓群 - 須恵器・和同開珎、高井田古墓群 - 須恵器・土師器・水晶玉・ガラス玉(以上、当館)

柏原市立歴史資料館

9:30 ~ 16:30 入館無料

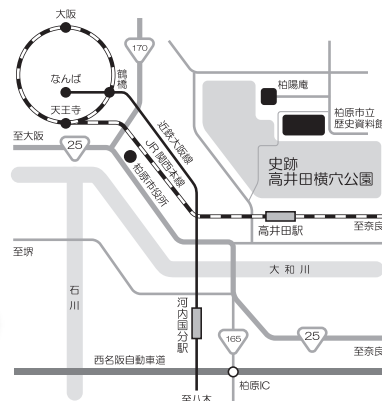
月曜休館(祝日は開館)

072-976-3430

大阪府柏原市高井田 1598-1

JR 関西本線「高井田駅」北へ5分

近鉄大阪線「河内国分駅」北へ15分



※表紙: ぼくがじんめん
安堂遺跡 - 墨画人面土器